

## D P Cにおける高額な新規の医薬品等への対応について

- 1 新規に薬価収載された医薬品等については、D P Cにおける診療報酬点数表に反映されないことから、以下の基準に該当する医薬品等を使用した患者については、包括評価の対象外とし、出来高算定することとしている。

前年度に使用実績のない医薬品等については、当該医薬品等の標準的な使用における薬剤費（併用する医薬品も含む）の見込み額が、使用していない症例の薬剤費の平均＋1 S D を超えること。

- 2 平成21年3月13日に薬価収載されることとなった医薬品のうち、ルセンティス硝子体内注射液2.3mg/0.23mL（ラニビズマブ（遺伝子組換え））及びゾレア皮下注用（オマリズマブ（遺伝子組換え））は、この基準に該当するため、当該医薬品を使用した患者については、出来高算定することとする。
- 3 効能追加の薬事承認がされた医薬品のうち、ボトックス注50／ボトックス注100（A型ボツリヌス毒素）は、新規に追加された効能である「小児脳性麻痺患者の下肢痙縮（2歳以上）に伴う尖足」に対して使用した場合は、この基準に該当するため、当該効能に対して本剤を使用した患者については、出来高算定することとする。

### <参考>

（1）ルセンティス硝子体内注射液2.3mg/0.23mL（ラニビズマブ（遺伝子組換え））

- ・薬価収載予定日：平成21年3月13日
- ・効能・効果：中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性症
- ・用法・用量：0.5mg（0.05mL）を1ヶ月ごとに1回、硝子体内投与
- ・標準的な費用：  
 $176,235\text{円} / 0.5\text{mg} \times 1\text{瓶} / \text{回} = \underline{\text{約17.6万円}}$
- ・当該医薬品を使用するD P Cでの診断群分類：  
MDC02 眼科系疾患（分類020200xx99xxxx, 020200xx970xxx, 020200xx971xxx）
- ・当該医薬品を使用していない症例の薬剤費（平均＋1 S D）：  
5,096点

(2) ゾレア皮下注用(オマリズマブ(遺伝子組換え))

- ・薬価収載予定日：平成21年3月13日
- ・効能・効果：  
既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の気管支喘息
- ・用法・用量：1回75～375mgを2又は4週間毎に皮下に注射
- ・標準的な費用：  
70,503円/1瓶 × 2瓶(平均的投与量) = 約14.1万円
- ・当該医薬品を使用するDPCでの診断群分類：  
MDC04 呼吸器系疾患(分類040100xxxxx00x, 040100xxxxx01x, 040100xxxxx1xx,)
- ・当該医薬品を使用していない症例の薬剤費(平均+1SD)：  
5,966点

(3) ボトックス注50/ボトックス注100(A型ボツリヌス毒素)

- ・追加効能の承認日：平成21年2月23日
- ・追加となった効能・効果：  
小児脳性麻痺患者の下肢痙縮(2歳以上)に伴う尖足
- ・用法・用量：  
4単位/kgを3ヶ月以上間隔をあけて投与
- ・標準的な費用：  
1回の投与量；4単位/kg×20kg = 80単位  
薬価； 100単位1瓶 92,249円  
50単位1瓶 51,062円  
より、標準的費用は約9.2万円  
※ 小児の標準的体体重を20kgとして費用を算出
- ・当該医薬品を使用するDPCでの診断群分類：  
MDC07 筋骨格系疾患、MDC14新生児疾患、先天性奇形  
(分類070140xx99x0xx, 070140xx99x1xx, 140490xx99xxxx, 140490xx970xxx, 140490xx971xxx,)
- ・当該医薬品を使用していない症例の薬剤費(平均+1SD)：  
7,716点